

## 第77回 朝活かみいち 記録メモ

テーマ: Let's お墓参り

進行役: 杉本俊二さん (杉本工業所)

日時: 2017年9月21日(木)、7時~8時

場所: M's cloud (上市文化研修センター1F)

参加者: 14人 (町内8人、初参加0人)

記録: 編者の記憶を頼りに書いたメモです。

ニアスの相違などをご容赦ください。

### ◆プレトーク

進行役から皆さんに「お墓」について手短にお話しくださいとのリクエストに応じて、参加者からのお話を以下に覚えている分だけ記します。

- ・お盆の時にはお墓参りです。
- ・お墓参りと言えば墓掃除からです。
- ・毎日、仏壇で。
- ・杉本さんの所でお墓を作っていただきました。

### ◆本番 (進行役が第一人称となっています)

まず自己紹介します。(聞き取れませんでしたのでちょっと割愛です)

#### (1) 一番古いお墓

お墓といえば、古墳を真っ先にイメージされるかと思います。仁徳天皇陵古墳がもっとも有名です。

一番古いお墓は神話にでてくる千引岩(せんひきいわ)です。これがお墓の原点と言われています。あちらの世界(死後の世界)とこちらの世界をつなぐのです。いってみれば死者との対話です。東出雲町にあります。

#### (2) お墓とは

家族の終わりの住み家です。過去・現在・未来における住み家です。亡き人や今生きている人(生人)を対象としています。

#### (3) お墓の本質

お墓の本質とは、生者と死者との幸福を交換する場所と考えてください。

#### (4) なぜお墓参り

亡くなった人はあの世で生きています。そして生人を見守っていますし、今の人の願いを聞いていただけます。お参りとはそうした亡き人の努力への感謝の行為なのです。ですから、お参りの時には、お願い事をするのです(していいのです)。

#### (5) 庶民のお墓

江戸時代中期からといわれています。幕府がキリスト教に対抗するために仏教を広めることにより、お墓が世に現れたのです。

#### (6) 神社との相違

神道では死後 50年たつと紙になると言われています。仏教では死後には仏様になります。

#### (7) お墓は幸せのシンボル

お墓は幸せを生み出すのです。

では幸せとは何か。ご先祖様は生人を幸せにする力を持っています。生と死を真近に感ずるのがお墓です。

しかし今の世の中、子どもは死を感じていません。死者との対面がないからです。やはり小さいときからお墓参りは必要ということです。

#### (9) お盆とは

旧暦の7月15日、先祖供養の儀式からお盆となったのです。13日がむかえ盆、16日がおくり盆となっています。今は新暦ですので、8月13日から16日がお盆ということになります。

#### (10) お彼岸とは

春分、秋分の各日の前後3日間、さとの世界がお彼岸です。しかも彼岸には二種類あって、彼岸は西、比岸とは東の世界です。

そして、春分は自然をたたえ、生をいつくしみます。醜聞は先祖を敬います。

#### (11) まとめ

お墓は過去と未来をつなぎます。家族の絆はここにありということです。

#### (12) 折り紙で蓮の花の制作

紫色の折り紙をプリントを見て各自作りました。結構おり方が難しかったが、厳かな花が出来ました。

### ◆アフタートーク、質疑応答

・いい話です。お墓というからどんな話になるのか想像つかなかっただけに。

・お墓が幸せのシンボルだなんて。こんな話を始めて聞きました。これからのお墓参りはより充実したものにします。

・お墓参りの写真展がカミールで今やっています。

### ◆おわりに

お墓が幸せのシンボルという杉本さんの力強いお言葉が印象的でした。杉本さん、皆さん、M's cloud の薄田さん、どうもありがとうございました。

